

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員 齊藤くに子 区政ニュース

メール:arajcp@tn-catv.ne.jp

区議団http://www.jcp-arakawakugidan.jp/くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/



2020年7月5日No1225号

区役所直通3802-4627

fax3806-9246

荒川区のコロナ感染状況

荒川区内の感染者数は85名(6月23日現在)。お亡くなりになった方が7名、心からご冥福をお祈りいたします。施設感染がありましたから人数が増えます。

自宅・ホテル等で療養した方が44名で、全員回復されて普通の生活に戻っています。

他の家族に感染しないか心配だったと思いますが、家庭内感染があつたか詳細はわかりません。

検査の徹底と待機場所の確保を 先般、区内業者の従業員が発熱しPCR検査を受けました。幸い陰性でしたが、受診したのが水曜日→センターでの検査が金曜日→結果が出たのが月曜日、この間5泊6日ホテルに隔離したそうですが、その費用は会社の持ち出しました。

検査結果が出るまでの待機場所を行政が確保することや、症状がなくでも家族、職場など濃厚接触者は、すぐに自己負担なしで検査を行うことなどが必要だと思います。

区内老人保健施設(ひぐらしの里)

で新型コロナの感染者が発生。

○6月26日体調の悪い方が15名

○1名90代女性が病院入院。PCR検査を受け陽性に

○6月27日4名(90代男1名・70代男1名・80代女性2名の検査で陽性となり28日に入院)

○6月30日現在、保健所が現地調査中。

○6月27日荒川区からガウン・マスク等、必要な資材を提供

今後、同じフロアの入所者と保健施設と医療施設のスタッフ全員のPCR検査を実施する。

○当面、通所リハ・訪問リハは当面休止。

関川病院の新規入院と外来も当面休止

感染者数	85
療養終了	自宅 39
	宿泊 5
入院	4
別の疾患で入院	2
退院	28
死亡	7

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
1人	8人	13人	20人	17人	8人	13人	5人
1.2%	9.4%	15.3%	23.5%	20.0%	7.4%	15.3%	5.9%

受けました。幸い陰性でしたが、受診したのが水曜日→センターでの検査が金曜日→結果が出たのが月曜日、この間5泊6日ホテルに隔離したそうですが、その費用は会社の持ち出しました。

検査結果が出るまでの待機場所を行政が確保することや、症状がなくでも家族、職

場など濃厚接触者は、すぐに自己負担なしで検査を行うことなどが必要だと思います。

永寿総合病院の発生を教訓に対策を

お隣、台東区の永寿総合病院の集団感染者は患者131人、職員83名の214名でした。区内はそのうち20名です。

厚労省のクラスター班の4月の調査報告書では、休憩室・食堂など密に過ごす空間での感染拡大・コロナを疑うタイミングの遅れ・病棟の構造上の問題・病棟間の移動などが言われています。

区内施設の集団発生に、早急に対策を講じることが求められます。

★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時~

7月27日(月)

★荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

TelFax3806-5134



★生活相談は随時随時に応じます。ご連絡ください。

★別の日程でも弁護士事務所の予約を取りますのでご連絡ください。

コロナウイルス非常事態宣言との関係で定例法律相談は完全予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。宜しくお願ひ致します。

①18:00~18:30

②18:40~19:10

③19:20~20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。

10万円給付金の支給は60%以上

報道があったように、特別給付金の区内での銀行振込済みは60%を超えるました。銀行に確認に行ってもまだ入っていないとのお問合せもいただきます。すいませんお待ちください。

申請から振込までの手順は ①郵便局から申請書が担当部

署に。特に6月の第一週は毎日大量に ②セントラルビル内の事務所で委託会社が、送られてきた申請書と添付書類を一件ごと、

クリアファイルに入れる ③一件ずつ申請書と添付書類が同一画面になるようにスキャンする ④データーを委託会社に送り、1件ずつ間違いがないか点検 ⑤間違いがないと確認できたデーターが荒川区に送られてくる ⑥区の担当職員が振り込みデータを各銀行に送る。⑦銀行が口座に入金となります。

添付書類のない申請が5千件ほどあり、符合できるようバーコードをつけて再申請の書類を郵送で送り、もう一度返送しても対ます。また署名や申請合計数の間違いなどは電話で確認し、大丈夫なら職員が訂正して手続きに回します。なかなか大変な作業です。

6月30日現在の申請数
オンライン申請 4,500
特例郵送申請 7,500
郵送通常申請 94,000
申請件数 106,000



6月29日東京都の新型コロナウイルス新規感染者は58人となり、先月25日に緊急事態宣言の解除後、最多になりました。

都がコロナ感染に警告を発する「東京アラート6月2日」が11日に解除されましたが、その後感染者数は解除前より増加傾向にあります。

「東京アラート」は何だったのでしょうか。自粛から自衛と言われましたが、今後一体どうなっていくのか。手洗い・消毒・密を避けるを実践しても感染するかもしれません。心配でなりません。街の中は人が増えています。経済と感染拡大抑制をすすめるには、やはり検査の徹底で早めの対応が必要ではないでしょうか。





妊婦さんに子ども商品券

妊婦の方への新型コロナウイルス感染症対策として、荒川区はゆりかご面接を受けた方を対象に、子ども商品券3,000円分(タクシー券としても使える商品券)と健康衛生詰め合わせギフトセットを配付しています。

1万円分すべて商品券にしなかった区は荒川区だけ

『5月から問い合わせて、健診に通うのにタクシーを利用するので1万円分はすべて子ども商品券にしてほしいと意見を届けた。一区民の声として聞いておくとの回答だった。

結局、荒川区は3千円の商品券と衛生グッズの支給となり残念。洗剤などは自分で購入可能。なぜ区民の声を聞けなかったのか』区内の妊産婦の方からお電話をいただきました。

妊婦の方が健診などでタクシー移動に使えるチケット等の配布を支援

「とうきょうママパパ応援事業」の育児パッケージ(1万円相当)に1万円上乗せ
✓ タクシー移動に使えるチケット
✓ 感染防止のために必要な物品 等

妊娠・出産期の健診や通院などにおける感染リスクを軽減

調査してみたら、荒川区以外は全て1万円全額を子ども商品券で渡していました。

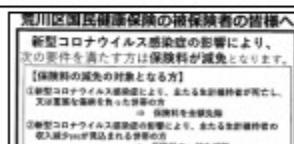
荒川区健康推進課は東京都の要綱に添って、感染防止のための物品も入れることにしたと説明していました。カタログ会社「ハーモニック」に商品準備・配送・個人情報管理・手数料など込みで1件1万円で委託したそうです。

お隣、台東区に問い合わせてみましたが、コロナの関係でゆりかご面接が出来ないので、以前から配布している1万円の子ども商品券に1万円追加して、区の職員が郵送で送っているそうです。

ギフト商品はきっと割高ですし、荒川区の場合は委託業者にお任せしているので、実質1万円にはならないと思われます。

ギフト商品も地域で、必要なら手に入るものですから、全て商品券が良かったと私も思いました。荒川区の妊婦のみなさんゴメンナサイ！！

国保料のコロナ関連減免の申請を 国民健康保険料の通知
が届いたと思います。コロナ関係の減免のお知らせも同封されています。



荒川区では国保加入世帯3万5千件の15%、約5千世帯の申請があるのではないかと予想しています。職員体制も整えて問合せに応じます。対象になると思う方は必ず申請しましょう。わからぬことがありますらご連絡ください。



腰痛が痛いときの足の位置は膝の周りで起ります。お皿の周りと内側の痛みです。お外では立ち方とスクワットをして立ります。多くの人は腰を下ろすときに腰の筋肉をあまり使わず、腰だけ前に曲げます。そして、曲げた腰がつま先の内側を向いています。この姿勢では腰に大きな負担がかかります。そこで、私の治療法では関節の真ん中に力を伝えるラ

は腰の周りで起ります。お皿の周りと内側の痛みです。お外では立ち方とスクワットをして立ります。多くの人は腰を下ろすときに腰の筋肉をあまり使わず、腰だけ前に曲げます。そして、曲げた腰がつま先の内側を向いています。この姿勢では腰に大きな負担がかかります。そこで、私の治療法では関節の真ん中に力を伝えるラ

膝痛対策

腰痛やひざ痛をお持ちの方も多い。私も閉経後に歩くことに大きな支障があるわけではないが、膝に違和感が出て診察。変形性膝関節症と言われて、もう15年位になる

といいフォームがわかるのと足が壁から離れないように行います。痛みなくスクワットがよくなります。導します。痛みなしのスクワットを2週間も続けるとほとんどの人がよくなります。

トができます。ただ家では部屋のコーナーで行う壁体

と足が壁から離れないように始めてください。5回から10回くらい繰り返します。これを3食のたび、寝る前トイレのたびにやりま

す。これが生活習慣をしようとする(おわり)勤めています。



東京・帝京大学
特任教授
渡會 公治

イラスト・山野枝

ピックリポンの話

新婦人しんぶん6月11日付に、関西大学文学部/井谷聰子准教授の「スポーツ・メガホンから見えてくるもの」と題した記事があった。そのなかに「東京2020計画書を見ると、大会期間中に医師看護師ら延べ2万5千人が動員される予定とある。

選手や関係者、観客らのけがや病気への対応を考えるとこれくらいの人員が必要なのだろう。だがコロナで疲弊している現場にこれ以上の負担を強いるべきではないことは誰の目にも明らかだ。学生を中心としたボランティアも同様である。経済的困窮により勉強の継続がままならない学生が増えている。…

ちなみにIOC役員の旅費と宿泊費はIOCから支払われ、大会期間中の日当は約9万円だそうだ。…」10日間で90万円！

